



©横浜市港北区ミスキー

支援センター職員が区内で活動するサークルの活動場所におじゃまします！

# おじゃミスキー No.1

港北区区民活動支援センター グループ活動訪問記

今回は、「布おもちゃボランティア こまめ」と「透明水彩画アルファ会」をご紹介します！！  
**「布おもちゃボランティア こまめ」** =訪問日=平成 27 年 4 月 2 日



活動の様子

こまめは、布おもちゃの製作や修理をしているグループです。区民活動支援センターで貸し出ししている布おもちゃも皆さんが製作されたものです。子どもだけでなく大人も楽しめる布おもちゃ作りをめざし、月に一度集まって、楽しく手を動かしています。ものづくりが好きな方、ボランティア活動してみたい方、こまめで一緒に活動してみませんか？



布おもちゃの看板



くだもの作り



絵合わせサイコロ

この日は、イベント用の布おもちゃの看板や、くだものなどを作っていました。布おもちゃの看板の文字は、どうやって作ろうかと皆でアイデアを出し合い、紐を活用して作ることにしたそうです。また、鮮やかな色合いが印象的な絵合わせサイコロもメンバーで話し合って色の組み合わせを決めました。メンバーからは、「皆で集まって作るので、自分では思いつかないアイデアを知ることが出来るのが楽しい」という声が寄せられました。

こまめでは、平成 23 年 4 月に、布おもちゃを広く活用して頂くために、「遊び方事例集」を作成しました。今後は、布おもちゃの製作だけでなく、活用方法を広めていくことにも取り組みたいそうです。実際に布おもちゃを使っている方からの「こんな風に使っています」という情報を募集しています。



遊び方事例集

## 布おもちゃボランティア こまめ

◆活動日時：毎月 1 回（第 1 木曜日）10:00~11:30 ◆活動場所：区民活動支援センター 会議室

◆現在の会員数：13 名 ◆会費：100 円/月、入会金なし

◆申込・問合せ：港北区区民活動支援センター TEL&FAX 540-2246

# 「透明水彩画アルファ会」 =訪問日=平成 27 年 4 月 27 日



岸本先生（左から 2 人目）

アルファ会は港北区の生涯学級終了後に立ち上がった透明水彩画のグループです。グループ名には、色の基本となる 3 原色に自分らしくプラスアルファの表現をしようという思いが込められているそうです。講師の岸本先生の気さくで明るい人柄と、メンバーの笑顔がとても印象的でした。「絵を描きたい」と思ったとき自由に参加できます。

## ●無理なく気軽に参加できます。

活動は月 1 回、港北公会堂で行っています。会費は参加時に支払う形なので、自分の都合に合わせて活動できるのも魅力です。用紙は発色のよい水彩用専門紙を先生が用意してくれます。先生のアドバイスの元、下書きから色付けまで、各自の感性とペースで仕上げていきます。時間のないときは早く帰っても OK。次回、添削を受けることもできます。この気軽さが無理なく楽しい活動につながっています。

## ●初心者の方も安心

初心者と経験者でテーブルが別になっており、描き方がわからない時は、先生自身が筆をとり、描いている様子を見せながら個別に教えてくれるので、楽しく参加できます。受講者にお聞きしたところ、先生はアドバイスが上手で、一人一人の感性を引き出してくれるので自信につながるとのことでした。今後は、年間計画に加え、鶴見川の水辺へお散歩に出掛けてスケッチをしたり、美術展への出品を目指したり、楽しい目標を予定しているそうです。

## ●多くの方に巡り合える交流の場

この日は 27 名の方が参加されていました。「ここは絵を学ぶだけでなく交流の場にもなっているんですよ」とアシスタントの福井さん。家から一歩外へ出て、男性も女性もみんな楽しく絵を描いてみませんか。



## 透明水彩画アルファ会

活動日時：毎月 1 回

活動場所：港北公会堂 2 階会議室

現在の会員数：50 名

会費：999 円/回（参加時に支払）

申込・問合せ：港北区区民活動支援センター

TEL&FAX 540-2246

## ◆区内のサークル・団体に関する問合せ◆

港北区区民活動支援センター

〒222-0032

港北区大豆戸町 26-1

TEL&FAX 540-2246

布おもちゃの活用方法などの情報もお寄せください。